

平成 30 年度 第 2 回 ブロック運営委員長会議が開催されました！

2/20（水）協会事務所にて、三役と各ブロックの運営委員長が出席し、第 2 回ブロック運営委員長会議を開催しました。平成 27 年の法人化に伴い、年 2 回開催しており、各ブロックの活動報告や研修・ブロック運営等に関して意見交換が行われています。

意見交換では、各ブロックにおける運営委員の決定方法やブロック研修等に関する意見が挙がりましたので、紹介をさせていただきます。ブロック運営を行う上で参考になれば幸いです。

1. 年会費・会員情報管理システム

平成 30 年度の年会費納入率は 67%（2/4 最終入金確認）。会員システムの登録件数は 656 件となっている。会費納入・システム登録を各ブロック企画等で案内いただきたい。

2. 各ブロックからの活動報告

運営委員長より、各ブロック活動に関して事前に作成いただいた報告書を基に報告。来年度の運営委員の体制では、13 ブロック中 12 ブロックで運営委員長が交代予定。共通する話題は、ブロック研修のテーマや運営委員の決定方法（輪番制等）等が挙がる。ブロック研修の開催形態では、8 ブロックにおいて、他ブロックとの合同開催や P S W ・ケアマネジャー等の他職種の参加、他団体・行政との共催企画が開催された。

3. 意見交換

主にブロック運営に関して意見交換を行う。具体的な内容は以下の通り。

(1) 任期 3 年として、理事を終えた後（任期 2 年）、1 年間は運営委員として活動する。運営委員を 1 年終えた委員が運営委員長を務める（任期 2 年）。

(2) 運営委員を引き受けやすいよう任期 1 年の運営委員枠を設ける。

(3) 運営委員の決定をくじ引きで行う。

(4) 理事 1 名・運営委員（運営委員長含む）3～4 名体制のブロックが多い。

(5) 輪番制だが、辞退する会員もみられ、運営委員の決定に苦慮している。

その他、運営委員長会議は平日の昼間に開催され、出席するには職場の理解が必要となる。協会本体には、運営委員長が出席しやすいようサポートしてほしいとの意見も挙がった。

4. その他

山口副会長より、2020 年に愛知県で開催する第 68 回日本医療社会福祉協会全国大会について報告あり。1 月理事会にて、日本医療社会福祉協会の理事を招き、第 1 回会議を開催した。愛知県での開催は 46 年ぶり。本会の 70 周年記念にあたる。第 15 回 AMSW 学会は同時開催となる。今後、実行委員会のメンバーを公募予定。

ブロック運営を行っていく上で有用な意見を会員のみなさまと共有できるよう、今後このようなかたちで報告を行っていきます。

報告者：名古屋共立病院 加藤哲也